



並木中等story

令和4年12月22日号

それほど周りを見てないよ！

日本には“恥の文化”があり、周りの人から何か言われることを嫌がる傾向があります。“近所の物笑いになる”とか“恥ずかしくて道を歩けない”などの言葉を聞いたことがある人もいるでしょう。民俗学の先生の話では、このことは日本が農耕生活を共同で



行っていたことに起因するということでした。みんなで一緒に作業をし、関係性を持っていたため、“周りの人と同じことをしよう”“他の人と異なったことをすることはよくない”という考えになったと学びました。

しかし、今は変わりました。人と同じことをするより新しい発見が期待される時代になりました。人の歩く速度も速くなっているそうです。周りを見て一喜一憂するより、自らが正しいと判断することを進めることが

大切な世の中になっています。

先日、“周りの人の言葉が気になる”と発言していた人がいました。気持ちは分かりません。陰口も嫌ですよ。しかし、その周りの言葉は本当に悩むべきものか、よく考えて、確かめてみてください。不必要かもしれませんよ。人は以外によく見ていないものです。

《祝！第12回科学の甲子園茨城県大会V5！》

第12回科学の甲子園茨城県大会において、みごとAチームが優勝、Bチームが選考委員特別賞を受賞しました。Aチームは3月に開催される全国大会に出場します！科学の甲子園の県大会優勝は平成31年度の中止をはさみ、5回連続となります。おめでとうございます。